

5 介護サービスを利用している人は全体で78%に達しています。要介護度別では要介護度が上がるにつれて介護サービスを利用する人の割合が高くなっています。また、年齢別で見ると介護サービスを利用している人の割合は64歳以下で65%、65～74歳で82%、75歳以上で79%となっています。

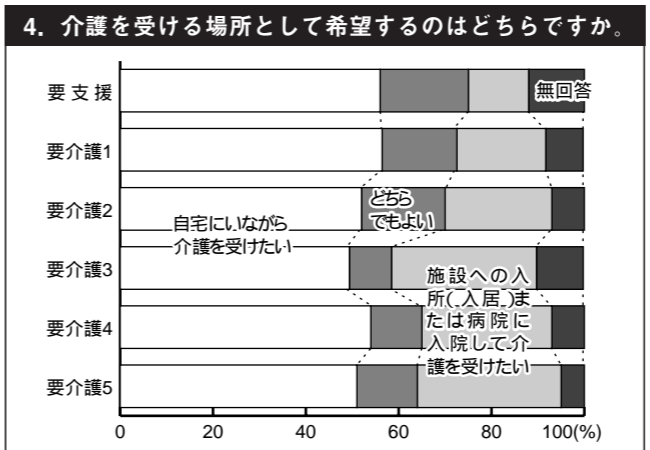
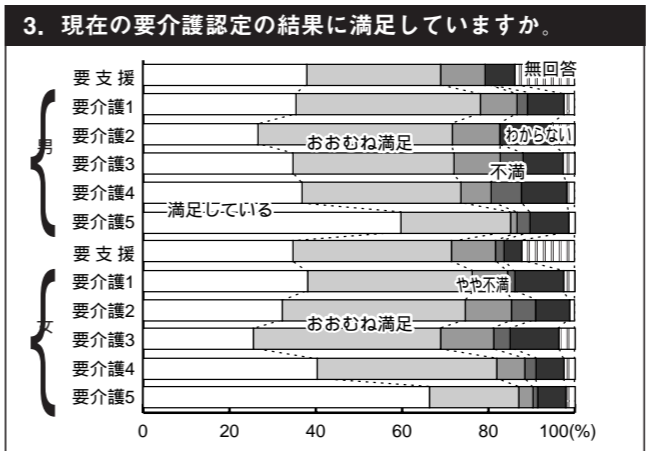
6 現在の介護サービスにおおむね満足していることがわかります。一方、介護サービスに不満を持っている人の理由は「介護サービスの内容と比較して利用料(負担額)が高いから」「介護サービスの担当者が代わるから」「介護をしてくれる人が介護サービスの時間を守らないから」といったものが挙げられています。

7 1か月における介護サービスの利用者負担額は、全体の約7割が20,000円未満となっています。

8 利用者負担額が「妥当である」と感じている人が一番多く56%に、一方「利用料が高い」「やや高い」と感じている人は29%となっています。

9 「入所したいと思わない」が43%、「入所したいと思う」が20%となっています。入所したいと思う人の割合は要介護度が上がるにつれて高くなっています。

10 「入所したいと思う」人を対象に、どの介護保険施設を希望しているのかを聞くと、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が44%、介護老人保健施設が30%、介護療養型医療施設が10%となりました。



市では、昨年末に要介護・要支援認定者実態調査を行いました。この調査は、次期介護保険事業計画(平成十五年～十九年度)を策定するうえでの資料となり、今回の調査の結果なども踏まえて平成十五年～十九年度の介護保険料を決定してまいります。

なお、平成十四年度も継続的な要介護・要支援認定者の実態把握に努めるため、郵送法による介護サービス満足度調査を実施する予定です。



要介護・要支援認定者 実態調査の結果から

平成13年度 介護保険

調査基準日...平成13年12月1日
 調査対象者...介護保険で要介護・要支援認定者の在宅者(施設入所者は除く)
 調査方法...民生・児童委員による全数調査(面接調査)
 調査対象数...1,299人(うち未回収などは148人)

年齢区分	男	女	計
64歳以下	50	19	69
65歳～74歳	106	114	220
75歳以上	308	702	1,010
計	464	835	1,299

2 「配偶者」と「嫁または婿」「子」の3つで全体の約8割を占め、介護をするのは家族であり、「介護=家族の支え」ということがわかります。

3 「満足している」「おおむね満足している」で76%となり、要介護認定結果については満足いく結果となっている人が多いことがわかります。なお要介護度ごとに満足度に差は見られないようです。

4 「自宅で介護を受けたい」が53%、「施設に入所したい」が24%となっています。要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて施設入所を希望する割合が高くなり、要介護3以上で約3割の人が施設入所を希望しています。